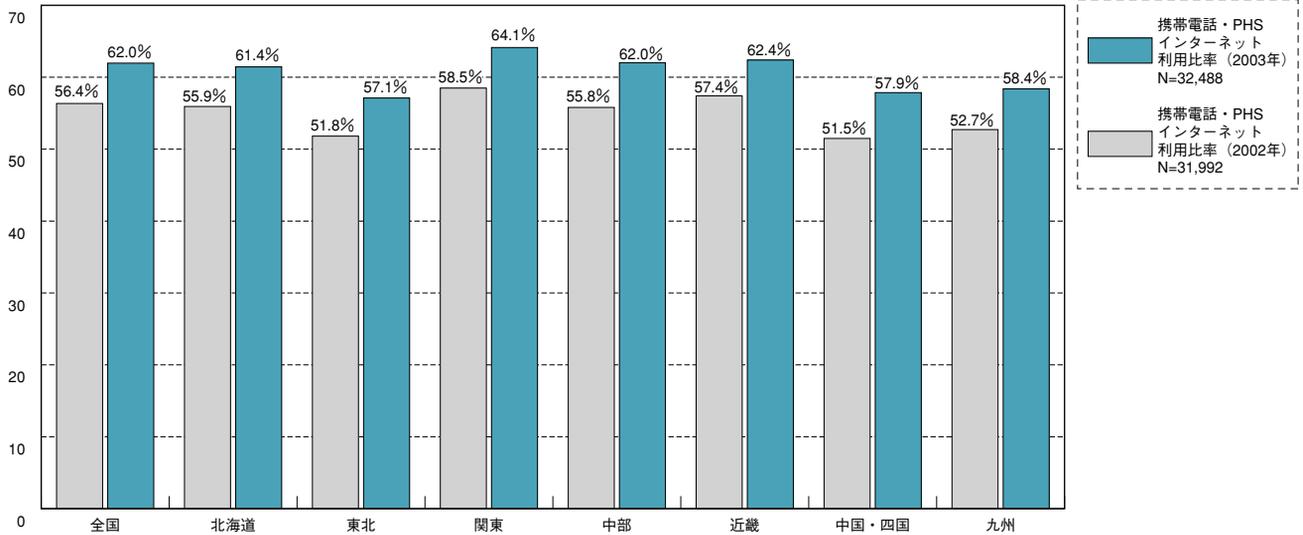


地域別・機器別普及率

携帯電話・PHS所有世帯のインターネット利用率は62.0%

資料1-1-10 地域別 携帯電話・PHS所有世帯における携帯電話・PHSでのインターネット利用率（2002年-2003年比較）

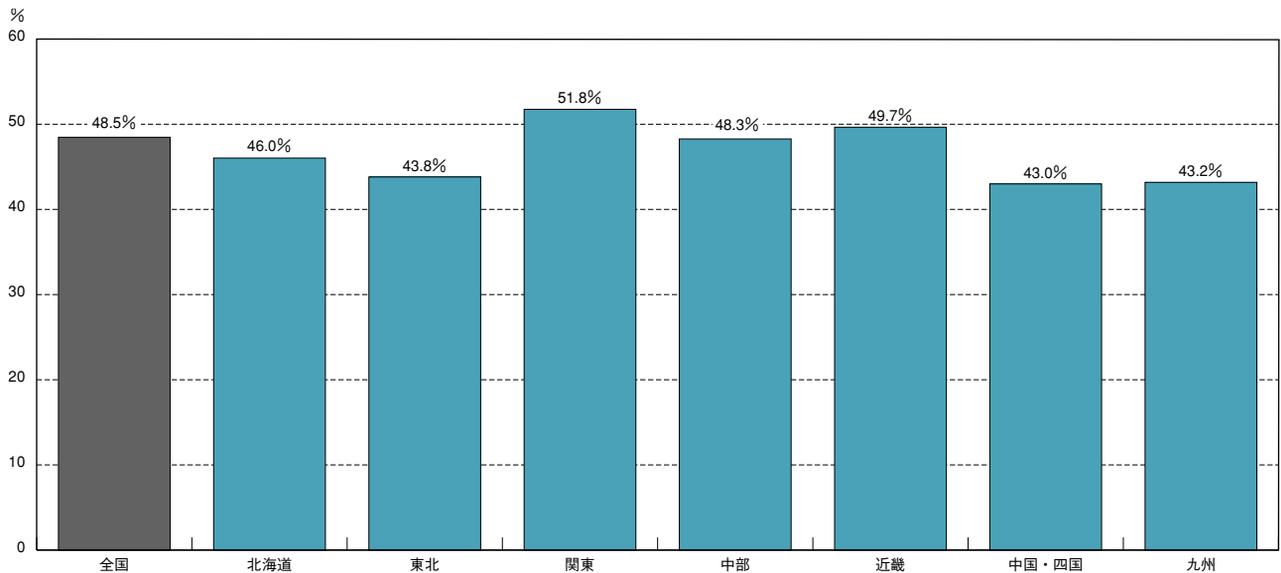


©Access Media/impress,2003

地域別の利用率の差は昨年と同程度。「関東」と最も低かった「中国・四国」との差は縮まったが、今年は「東北」との差が昨年と同程度であった。新サービスや機器の導入に地域の時差がなくなってきたことから、今後地域差はなくなっていくだろう。

携帯電話・PHSのインターネットでは地域格差が縮小

資料1-1-11 地域別 携帯電話・PHSでのインターネット世帯普及率（2003年） N=41,530



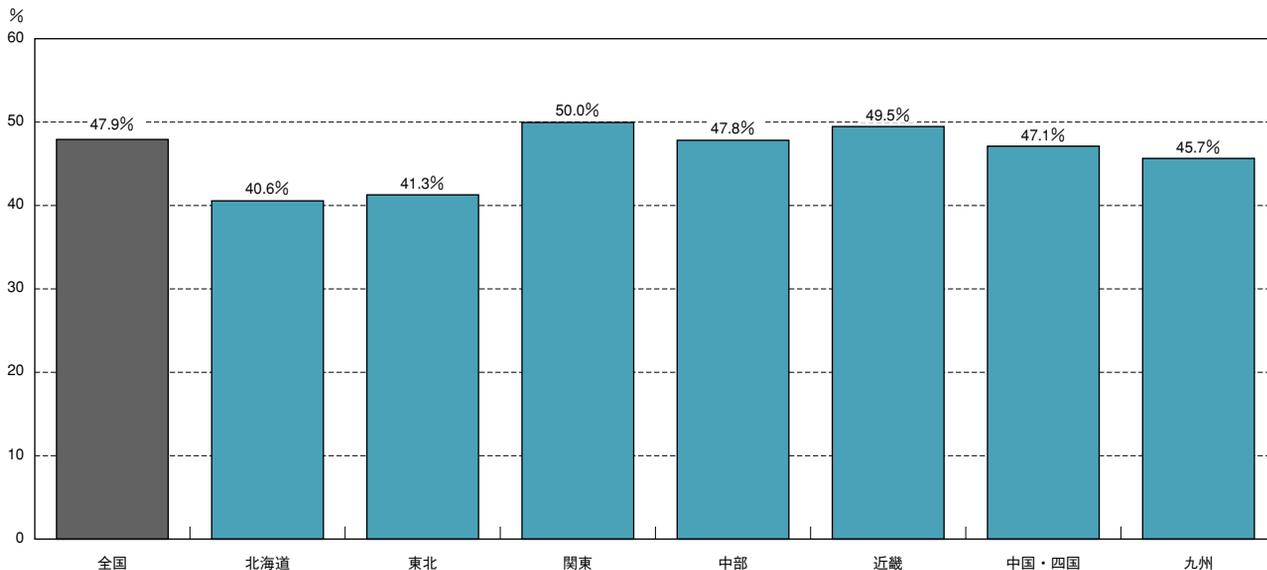
©Access Media/impress,2003

携帯電話・PHSでのインターネット世帯普及率を地域別に見た結果である。携帯電話・PHS自体のカバーエリアの拡大など通信会社の投資効果により、普及率の最も高い「関東」と最も低い「中国・四国」の差は年々縮小し、全体の格差は少なくなっている。

地域別・機器別普及率

「中国・四国」「九州」の伸びでPC接続は前年比120.1%

資料1-1-12 地域別 PCでのインターネット世帯普及率（2003年） N=41,530

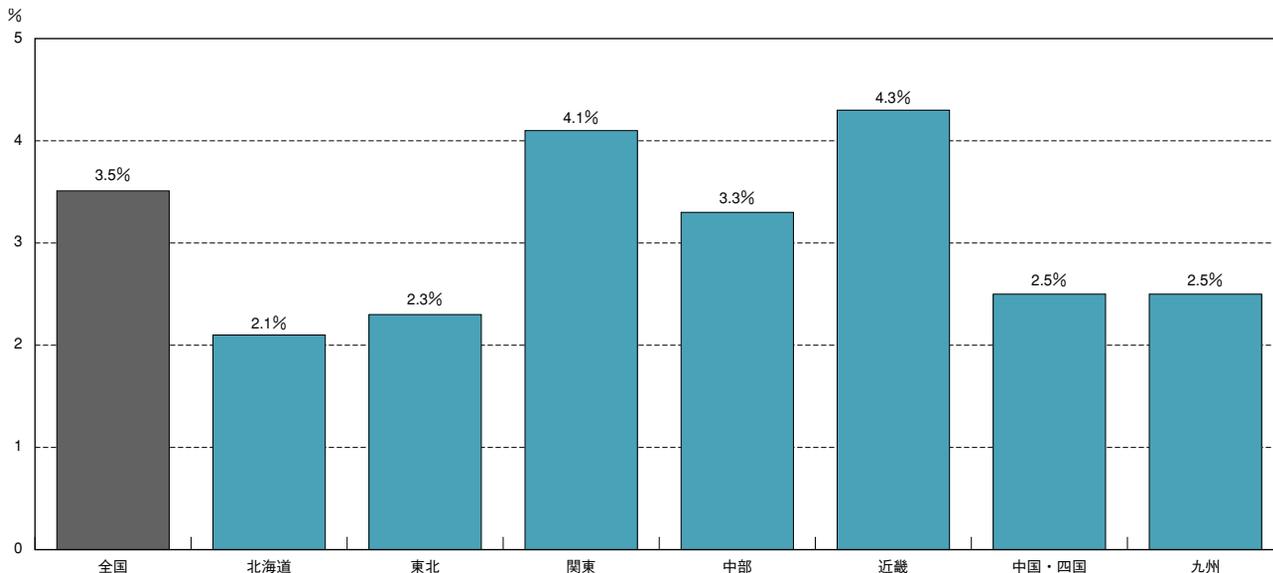


©Access Media/impress,2003

昨年少かった「中国・四国」「九州」はPC自体の増加が普及率の伸びに貢献。「北海道」「東北」では、企業や学校の絶対数からPCの導入が少なく、関東などとの格差が約1割と拡大した。全体では自宅パソコンのインターネット接続率は95.73%である。

ゲーム機器その他は伸びず、わずか3.5%

資料1-1-13 地域別 ゲーム機その他でのインターネット世帯普及率（2003年） N=41,530



©Access Media/impress,2003

インターネット対応ゲーム機やソフト、ブロードバンド世帯の増加など、普及を牽引する要素が揃ってきているが、認証、課金の整備や対戦相手との調整などによる手間から普及の速度はゆるやか。ISPのサービス状況により、地域格差が見られる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp